



内閣府
沖縄総合事務局

なか
ゆくい



花ブロックコレクション

花ブロックとは

沖縄の建物の特徴といえば木造の赤瓦家を思い浮かべるが、台風やシロアリ被害を防ぐため実に9割がコンクリート造の建築とも言われる。

ともすれば味気ない建物となりがちなコンクリート建物だが、その外壁を美しく華やかに彩るのが通称「花ブロック」。

花ブロックとは、コンクリートブロックに空洞を作って柄をデザインした、沖縄生まれの建築素材である。

花ブロックが製造された当初、デザインは3～4種類だったようだが、今では色や形さまざまなデザインの花ブロックがあり、光や風を通しながら目隠ししてくれる優秀な建材として多用されている。

今回は、花ブロックには、どれぐらいたくさんの種類があるか集めてみた。

※ちなみに各呼称はわたしたちが勝手に名付けたもので、正式な種類名ではないのでご注意を。

マツ形・ヒシ形

よく見かける形。塀のいちばん上や、ベランダのさくなどによく使われているようだ。



これはよく見る
タイプじゃな！



マツ形基本形



ヒシ形基本形



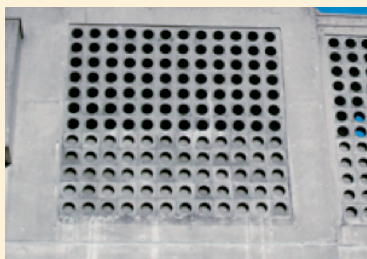
丸形



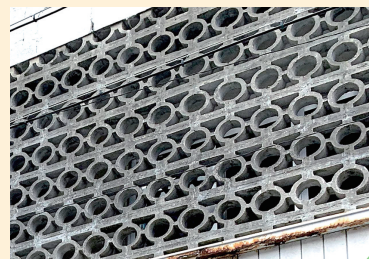
これもよく見る。ただの丸だが並べるとかわいい。



目隠しにもなって
おしゃれだね！



丸形



変則丸形



長方形・正方形

シンプルで一目花ブロックと気づかないが、これも花ブロックの一種。壁や塀の一面に使われることが多い。



長方形



正方形



通風口とかにも
使われそう



ひし丸形・チェックボックス形

まるでチェックボックスのような形。
斜線とバツの2種類がある。



ひし丸形



斜線

洗練されていて
おしゃれな感じ。



複雑デザイン・合わせ技

花ブロックが製造された当初はデザインは3〜4種類
だったが、今ではオリジナルデザインも多い。



丸と縦長の穴



正方形×斜線の組み合わせ



花織の文様のような

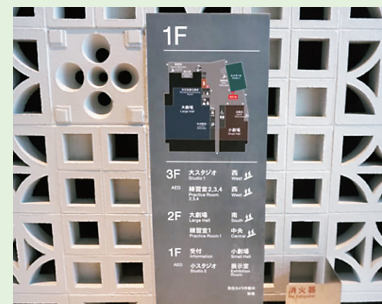
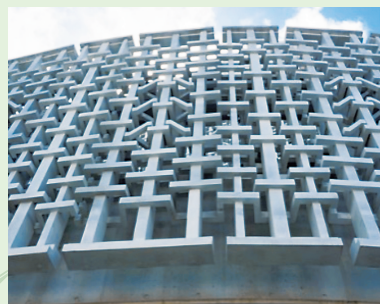


「那覇文化芸術劇場なは一と」の進化系？花ブロック

2021年に久茂地小学校跡地に新たに完成した那覇市の新しい劇場「那覇文化芸術劇場なは一と」。

外観はハイブリッドプレストレストコンクリート (HPC) という沖縄で開発された新しい建材が使われており、従来では不可能だった高いデザイン性と耐久性を両立。またHPCは錆びない材料を使用するため塩害を受けないといった点が評価され、その開発に携わった方々が第9回「ものづくり日本大賞」で経済産業大臣賞を受賞している。

(詳しくは群星2023.3-4月号に掲載)



<まとめ>

戦後に作られ広まった花ブロック。美しく機能性もあるので新しい建物でも積極的に建築に取り入れられている。
また沖縄だけでなく、県外でも広まりつつあるとか。みなさんはどの花ブロックがお好きですか？

局報「群星」が今年発刊50年の節目を迎えることを記念して、沖縄の日常に潜む地元特有の面白さを発見発信し続けている「DEEokinawa」とのコラボ企画を実施しています。これまであまり気づかなかった、沖縄の面白さについて、楽しく紹介していきますので、ご期待ください。



※DEEokinawaとは、「知れば知るほどラビリンス」をテーマに、これまでの観光情報では取り上げられないようなディープで沖縄らしいオモシロやフシギを沖縄在住ライターが独自目線で紹介する沖縄情報ポータルサイト。

